

尾張北支部

令和4年度施設見学会

- ・日 時：令和4年11月30日（水）
午前8時
- ・視察先：（株）プラニック（静岡県御前崎市）
- ・参加者：12名

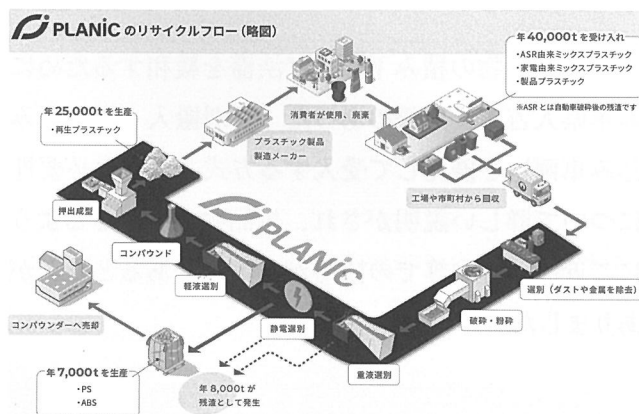
尾張北支部（南村朋幸支部長）は、プラスチック類のリサイクルがどのように取り組まれているのか、国内で最新の設備を誇る（株）プラニックの御前崎工場へ施設見学に伺いました。

当日は、愛知芸術文化センター南（名古屋市中区）に集合し、大型バスにて視察先に向かい、途中、昼食休憩を挿み午後1時に同社へ到着しました。

研修室にて会社説明が行われ、PR動画を見ながら担当の営業部営業開発部部長 堀口昌澄氏よりお話を伺いました。

2022年10月に本格稼働した御前崎工場は、国内最大級（単一工場での年間コンパウンドペレット生産量）のリサイクルプラスチック製造事業会社です。自動車や家電製品由来、家庭で使用される製品が混在したプラスチック（ミックスプラスチック）を原料とし、再び自動車部品や家電製品の原材料に使用可能なリサイクル原料を製造します。

同社に運ばれてきたASR・家電・産廃由来の硬質ミックスプラスチック等は、ダストや金属を除去する選別を行い、破碎・粉碎され、次に比重が1（水）より重い液体を使って選別する重液選別、比重が1の水では選別できない軽液選別、複数の静電選別機を組み合わせた静電選別を活用し、ポリプロピレン、



ポリエチレン、ポリスチレン等に選別して販売します。

御前崎工場では、ヨーロッパで実用化された選別技術を活用して、これまで国内では難しかった高度な選別を実現し、年間約4万トンの廃プラスチックを受け入れ、約3.2万トンのリサイクル原料の生産を目標としています。これまで熱回収されてきたプラスチック資源を再資源化することによってサーキュラーエコノミーの実現に寄与します。

また、株主はヴェオリア・ジャパン株式会社、豊田通商株式会社、小島産業株式会社の3社によるジョイントベンチャーであり、2018年12月に設立され、各社の強みを生かすことでシナジーを生み出しています。

堀口部長から概要を聞いた後、工場内を案内していただき各設備の役割等について伺いました。

コロナ禍の影響を受け数年ぶりの施設見学会でしたが、日本のプラスチックリサイクルを変える最先端技術を目の当たりにして、参加者から感嘆の声が上がるなど、大変刺激を受けた施設見学会となりました。

